

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。現在、学校法人聖学院理事長。聖学院大学総合研究所長。

〔著書〕『ピューリタニズムの倫理思想』、『ピューリタン——近代化の精神構造』、『終末論的考察』、『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』、『キリスト入門』、『歴史神学と社会倫理』、『偶然性と宗教』、『人類の知的遺産・バルト』、『日本の神学』（共著）、『新しい共同体の倫理学』、『主の祈り』、『日本は変わるか』（共著）、『宇魂和才の説』など。

清水 多吉 しみず・たきち

1933年生まれ。東京大学大学院修了。東京大学、名古屋大学講師を歴任。現在、立正大学文学部教授、早稲田大学、神奈川大学講師。

〔著書〕『1930年代の光と影——フランクフルト学派研究——』（河出書房新社）、『ヴァーグナー一家の人々』（中央公論文庫）、『ベンヤミンの憂鬱』（筑摩書房）、その他。

〔訳書〕フランクフルト学派関係著作の訳書、多数。

W・シュベントカー Wolfgang Schwentker

Born in 1953. Studies in History, Literature and Philosophy at the Universities of Düsseldorf and Bonn (1973-79), Research Fellow at the Max Weber-Institute, Düsseldorf (1979-84), Reader in Modern History at Düsseldorf University (1986-89, 92-96), Senior Lecturer in Modern History at Düsseldorf University (1999). 1999年2月27日に開催された経済学史学会報告「日本のマックス・ウェーバー受容」のため来日。

〔著書〕*Max Weber Gesamtausgabe, Bd. 16: Zur Neuordnung Deutschlands. Politische Schriften 1918-1920*, Tübingen 1988 (co-edited with W. J. Mommsen); *Max Weber in Japan*, Tübingen 1988 (Habilitationsschrift 教授資格請求論文); *Max Weber und das moderne Japan*, Göttingen 1999 (forthcoming, co-edited with W. J. Mommsen).

近藤 正臣 こんどう・まさおみ

1942年生まれ。国際基督教大学行政大学院修士課程修了。現在、大東文化大学経済学部教授、国際会議通訳者協会(AIIC)のシニア・メンバー。

〔著書・論文〕『開発と自立の経済学』（同文館・1989），『文化・言語・発展途上国——社会科学複眼思考』（北樹出版・1989）‘Japanese Interpreters in Their Sociocultural Context,’ *Meta*, March 1988; ‘What Comparative Economic History Offers Development Economics,’ *Ex Oriente*, 1991; ‘Cassette Effect in Japanese Translation Words,’ *The Interpreters’ Newsletter, Special issue*, 1992; 「日米構造協議の意義」（大東文化大学経済研究所『研究報告』1996），「アルゼンチンとオーストラリア——何が両者を分けたか」（『大東文化大学経済学部創設60周年記念論文集』1999）など。
〔訳書〕Hisao Otsuka, *The Spirit of Capitalism*（岩波書店・1982）; E・A・リグリー『エネルギーと産業革命』（同文館・1991）

田中 豊治 たなか・とよじ

1926年生まれ。東京大学経済学部卒。同大学院社会科学研究科（経済史学専攻課程）博士課程修了。経済学博士（東京大学）。法政大学教授，千葉大学教授，大東文化大学教授を歴任。現在，聖学院大学総合研究所客員教授。千葉大学名誉教授，大東文化大学名誉教授。

〔著書〕『イギリス絶対王政期の産業構造』，『ウェーバー都市論の射程』，『近代世界の変容』（共著）など。

〔訳書〕S・N・アイゼンシュタット『文明社会の比較社会学』（共訳）

池田 昭 いけだ・あきら

1929年生まれ。東京大学大学院宗教学宗教史学博士課程満期退学。和歌山大学教授を経て中京大学教授。1999年3月定年退職。

〔著書〕『天皇制と八瀬童子』（東方出版・1991），『ひとのみち教団不敬事件関係資料集成』（編著・三一書房・1997），『大本資料集成』3巻（編著・三一書房・1982～5），『ウェーバー宗教社会学の世界』，『ウェーバーの日本近代化論と宗教』（岩岡書院・1999）など。

〔訳書〕R・N・ペラー『徳川時代の宗教』（岩波書店・1996），F・カンツィク編『ヴァイマル共和国の宗教と精神史』（監訳・御茶の水書房・1993）など。

飯坂 良明 いいさか・よしあき

1926年富山県生まれ。東京大学法学部政治学科卒業。東京大学大学院政治学研究科特別研究生修了。学習院大学教授を経て，現在，聖学院大学大学院教授，大学院長。学習院大学名誉教授。

〔著書〕『権力への抵抗』（グローリア出版・1959），『現代社会をみる眼』（日本放送出版協会・1968），『現代政治学』（同・1968），『キリスト者の政治的責任』（新教出版社・1970），『宗教と現代』（玉川大学出版部・1981），『未来への軌跡』（四谷ラウンド・1995），『新約聖書に学ぶ』（世界思想社・1996）など。

〔訳書〕ハチスン『キリスト教と政治』（教文館・1961），ラスキ『近代国家における自由』（岩波文庫・1974），フロム『ユダヤ教の人間観』（河出書房新社・1980），ローチ『表現の自由を脅かすもの』（角川書店・1996）など。

柳父 罔近 やぎう・くにちか

1946年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。青山学院短期大学助教授等を経て、現在東北大学法学部教授。

〔著書〕『ウェーバーとトレルチ』（みすず書房）、『エートスとクラトス——政治思想史における宗教の問題』（創文社）

セオドア・R・ウェーバー Theodore R. Weber

Dr. Theodore R. Weber is Professor Emeritus of Social Ethics in Emory University, Atlanta, Georgia, USA. He is a former president of the Society of Christian Ethics in the United States and Canada. During the January-May semester of 1999 he was Visiting Professor in Chung Chi College of the Chinese University of Hong Kong. He is the author of *Politics in the Order of Salvation: Transforming Wesleyan Political Ethics*, Soon to be published by Abingdon Press.

標 宮 子 しめぎ・みやこ

1947年生まれ。お茶の水女子大学大学院人文科学研究科日本文学専攻修士課程修了。女子聖学院短期大学を経て、現在、聖学院大学人文学部日本文化学科教授。専攻は日本中世文学。

〔著書〕『とはずがたり中世女流日記文学の世界』（共著・勉誠社）、『若い魂の養いに』（ヨルダン社）など。

須山 名保子 すやま・なほこ

1933年生まれ。学習院大学大学院人文科学研究科修士課程修了。日本語学（古典語・奄美琉球方言）専攻。学習院大学、津田塾大学、女子聖学院短期大学等非常勤教師、同短大教授を経て、現在、聖学院大学人文学部日本文化学科教授。

〔著書〕『奄美方言分類辞典 上巻・下巻』（共編著）、『長田須磨の民話と昔がたり』（共編著）、『和泉式部正集・続集用語修辭総索引』、『日本列島の言語』（共編著）など。

郡司 篤晃 ぐんじ・あつあき

1937年茨城県水戸市生まれ。東京大学医学部卒、同大学院卒、医学博士。東京女子医科大学日本心臓血圧研究所研究部を経て1975年に厚生省入省、その後医務局総務課、環境庁、鹿児島県衛生部長、厚生省生物製剤課長、健康増進栄養課長を歴任。1985年より東京大学医学部保健管理学教授。現在、聖学院大学総合研究所教授。

〔著書〕『医療システム研究ノート』（丸善プラネット）、『保健医療計画ハンドブック』（編著・第一法規）、『身体活動・不活動の健康影響』（編著・第一出版）など。

相澤 一 あいざわ・はじめ

1967年生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。東京神学大学大学院修士課程修了。ニューヨーク・ユニオン神学校S. T. M. コース修了。関東学院中学・高等学校聖書科教諭を経て、現在、聖学院大学特任講師。

〔論文〕「パウル・ティリッヒの『宗教史の神学』——その諸相と変遷」（東京神学大学神学会『神学』56号・1994年）、「ティリッヒ神学における人格神の概念」（組織神学研究編『パウル・ティリッヒ研究』（聖学院大学出版会・1999年）

〔訳書〕パウル・ティリッヒ『宗教の未来』（共訳・聖学院大学出版会・1999年）

大澤 麦 おおさわ・むぎ

1963年生まれ。慶応義塾大学法学部政治学科卒。明治学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。法学博士。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。

〔著書〕『自然権としてのプロパティ——イングリッド革命における急進主義政治思想の展開』、『イギリス・デモクラシーの擁護者A・D・リンゼイ——その人と思想』（共著）

川添 美央子 かわぞえ・みおこ

1970年生まれ。慶応義塾大学大学院後期博士課程在籍。政治思想史専攻。

〔論文〕「ホッブズの自然権論における個人概念——生命および財産をめぐる——」『法学政治学論及』第31号（1996年冬季号）、「自由意志論争におけるホッブズの二つの視座」『法学政治学論及』第40号（1999年春季号）

深井 智朗 ふかい・ともあき

1964年生まれ。アウグスブルク大学第一哲学部博士課程修了。哲学博士（アウグスブルク大学）。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。

〔著書〕*Paradox und Prolepsis*, Marburg 1996, 1999 (2. Aufl.), 『アポロゲティークと終末論——近代キリスト教批判の系譜とその諸問題』（北樹出版）

富沢 賢治 とみざわ・けんじ

1936年埼玉県生まれ。1966年一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。社会学博士（一橋大学）。一橋大学経済研究所教授を経て、現在、聖学院大学総合研究所教授。

〔著書〕『労働と国家——イギリス労働組合同議史』（岩波書店）、『社会的経済セクターの分析——民間非営利組織の理論と実践』（岩波書店）、『非営利・協同入門』（同時代社）など。

市川 昇 いちかわ・のぼる

1950年生まれ。京都大学法学部卒。弁護士を経て裁判官となる。東京地裁、岡山地裁、広島高裁岡山支部、横浜地裁各判事をつとめる。1999年10月31日逝去。

〔著書〕『神と法と裁判と』（キリスト新聞社）ほか。

桑島 裕 くわしま・ゆたか

1958年生まれ。1983年高崎市立高崎経済大学経済学部経営学科卒。1998年聖学院大学大学院修士課程修了。政治政策学研究科専攻。現在、文化シャッター株式会社勤務。群馬政策科学研究機構理事。

〔論文〕「地域と交通」の関係構造とその発展——コミュニティとコミュニケーションの関係を通して——」（共著・高崎経済大学附属産業研究所）

竹淵 香織 たけぶち・かおり

1973年群馬県生まれ。1999年聖学院大学大学院政治政策学研究科修了。

ディーン・W・サザデン Dean W. Sotherden

1960年生まれ。1982年オハイオ大学卒。1997年1月テンプル大学にてM. Ed.取得。現在、聖学院大学総合研究所助手。

ロバート・ロング Robert Long

Robert Long has a Bachelors of Education degree with a minor in TESOL from the University of Alberta (Canada) and an Advanced Certificate in TESOL from Leicester University (England). He is currently completing an M. A. degree in Applied Linguistics and TESOL with Leicester University.

〔著書〕‘General Classroom Video Techniques for Intermediate and Lower Levels,’ *Video Rising* (JALT Video SIG newsletter), Fall, 1997, Volume 9, Issue 3; ‘Field Trip Video Language Experience Stories,’ *Video Rising* (JALT Video SIG newsletter), Spring, 1998, Volume 10, Issue 1; ‘The American Streamline Series: the Classic Reference for Writers of English Language Teaching Materials in Japan,’ *Between the Keys* (JALT Materials Writers SIG newsletter), Spring, 1999, Volume 7, Number 1.